

CO・OPが応援する 子どものすこやかな成長



生活協同組合コープさっぽろ

えほんがトドック ゆっくり豊かな心を育てる「えほんがトドック」(子育て支援基金)

お 子さんのはじめての本、どうしていますか。
まだ読めないからといって、絵本の読み聞かせを後回しにしている
せんか。ご家族で読み聞かせることで、心が豊かに育れます。子
育て世代も心豊かに安心して暮らせるようコープさっぽろは、2010年度から「コープ子育て支援基金」を設立し、子育て読み聞かせ事業を始めています。1歳から3歳までのお子さんをお持ちでお申し込みいただいた方全員に、2年間で6冊の絵本をプレゼントしています。配布する一方、「子育てひろば」などで絵本講演会も開かれています。
お問い合わせが多数あったことから、2010年度再募集を決定しました。
申し込み期間は11月1日から12月10日です。



ちよっとだけ



▲'10年度、「えほんがトドック」で配布された3冊の絵本



▲'10年9月8日、札幌市北12条店で開かれた安田貴子さんによる「ようこそ絵本の世界へ」

子育てにちょっとお悩みのママ、ともだち探しのママに大好評

生活協同組合コープさっぽろ

親子が安心して過ごせる「子育てひろば」

子育てに悩む人をなくしたいと、2005年に始まった「子育てひろば」。全道各地域のコープさっぽろのお店など26会場で、1～2週に1回開催しています。子育てを経験した組合員のスタッフが見守る中、子ども同士がおもちゃで遊んだり、お母さん同士がおしゃべりや情報交換をするなど、みんなが安心してのんびり過ごせる場です。また、「えほんがトドック」が始まり、絵本の読み聞かせもますます活発になりました。「買い物をついでに立ち寄れる」、「スタッフや子育て仲間悩みごとを相談できる」など、参加したお母さんからはうれしい声が聞こえてきます。

妊娠中の方や、組合員でない方も参加でき、開催時間内であれば自由に入退室できます（一部予約が必要な会場もあります）。

コープさっぽろはこのほかにも、小学校入学前のお子さんがいる家庭は5%割引になる「ちびっこコープデー（お店で毎週火曜日）」、一時預かり「トドックルーム」、小学生の仕事体験「おしごとキッズ」など、多方面にわたる14の子育て支援プログラムを用意し、子育てを応援しています。

名物の「新聞プール」ではしゃぐ子どもたち（砂川店）▶



▲アットホームな雰囲気の中、思い思いに遊べます（えべつ店）



生活クラブ生活協同組合

子育て支援親子ひろば 「ほっとたいむ」

0歳から4歳前後の子どもと親（特に母親）が気軽に集える場として札幌市厚別区と北広島市で、毎週1回午前10時～午後2時まで開催しています。年間1,500組ほど訪れ、良質な木のおもちゃや絵本に囲まれるひとときを過ごしています。昼食時間も含まれるので多くのお母さんはお弁当を持ってきます。子どもと子ども、親と親、そして子どもと大人が出会うひろばとして、地域の母親たちの頼りになる場として認知されてきています。



▲夏休みはたくさんの親子でとってもにぎやか

北海道医療生活協同組合

「子育てサロン のびのび」 元気に開催中です！

2010年4月から地域の子育て支援の一環として、札幌緑愛病院の敷地内にある「すこやか会館」を「子育てサロン のびのび」に開放しています。毎月1回、第3水曜日の午前10時～11時30分の1時間半ですが、地元町内会の方を中心としたボランティアさんが見守る中で、8月までに延べ24組の親子が、文字通り「のびのび」と交流しています。

また、8月には医療生協の主催で長沼町に「親子トマト狩りツアー」、9月には「親子じゃがいもツアー」に出かけたほか、12月には「親子料理教室」の開催を



▲お兄ちゃん、すごいね～！

予定しています。地域の方々の交流の場として、さまざまなイベントを企画していますので、ご参加ください。

2つの社会福祉基金。 学ぶをしっかり応援、子育てをしっかり助成

境遇は一人一人違っても長く地域で安心して暮らしたいという願いは、誰もがもっています。お互いに支え合い、思いやりの気持ちを寄り添わせることで、今よりもちょっとずつ暮らしやすくなる…、そんな社会づくりを実践するための2つの社会福祉基金をご紹介します。

生活クラブ生活協同組合

任意で賛同、毎月70円の支え合い

地域で安心して暮らしていくための市民参加型福祉を展開する財源として、2003年に福祉基金を創設しました。任意で賛同する組合員さんが、毎月70円を拠出しています。基金は、子育て支援親子ひろば、介護教室、介護予防講座などの事業、活動と地域で福祉活動を進めている団体への助成に充当しています。助成先団体が実践している活動内容を生活クラブの機関紙に掲載することにより、組合員さんの福祉に対する関心が高まっています。



▲基金を使って介護教室を開催

(財)コープさっぽろ社会福祉基金

奨学金給付事業を行っています

経済的に恵まれない障がいのある生徒と、ひとり親家庭の高校生を対象に、育英奨学金給付事業を行っています。貧困による教育格差が大きな社会問題となっている中で、当財団の奨学金は、①特別支援学校とひとり親家庭が対象、②1カ月1万円で高校3年間に36万円、③返済なしの給付型—という他の奨学金に見られない特徴があることから、本人・家族から大変感謝されるとともに、教育・福祉関係者からも注目されています。毎年約90名、1,000万円を超える給付を行っています。'09年11月、道内3番目の公益財団法人となりました。



コープさっぽろ北12条店2階会議室で行われた2010年度奨学生選考委員会▶

(財)日本ユニセフ協会北海道支部

世界の子どもたちを 飢えや病気から救いたい

ユニセフ(国連児童基金)は、世界の子どもたちの命と健康を守るために活動する国連組織です。日本も戦後1949年から15年間、脱脂粉乳や医薬品、原綿の供給など、ユニセフの支援を受けていました。北海道支部では全道各地でユニセフ募金の取り組みをすすめています。

コープさっぽろでは、みなさんからの募金がどこに貢献しているのか、使途や結果がはっきりするように指定国募金とし、指定国を隣国アジアのブータン王国としました。募金の使い道が明確で有効に活用され、形の見える成果を得られます。店頭での募金にご協力ください。



▲'09年度のコープさっぽろ店頭での募金活動(元町店)



▲ブータンの子どもたち

子どもの毎日が元気であるように!

みんなの助け合いで支えられている、全労済とCO・OP共済。どちらも、お子さまのための保障も充実しています。手ごろな掛け金でしっかり保障、お子さまの生活で起こりやすいケガや病気に合わせた安心共済です。

全労済 こくみん共済キッズタイプ 元気なお子さまのための総合保障



ケガだって日帰り入院だって大丈夫!総合保障でいつでもお子さまを安心サポート!骨折や関節の脱臼をはじめとするケガにも備えを。詳しくはホームページで。

CO・OP共済

《たすけあい》J1900円コース新登場

組合員の声で2010年3月に誕生したコースです。0歳から満18歳までの、現在通院中や障がいがあるお子さんもご相談ください。健康告知は2つだけです。



人生の節々に役立つ生協の役割

北海道には、子どもからお年寄り、学ぶ人や働く人たちの暮らしを応援する多くの生活協同組合があります。それぞれの事業や活動をもっと知って、あなたの暮らしに役立てませんか。

北海道医療生活協同組合

道内初の生協病院。精度の高い診断と治療、在宅療養支援も。

北海道医療生協は働く人や地域の方々の健康管理や地域医療への貢献をめざして、道内初の生協病院として札幌緑愛病院を1983年に開設し、職業病の診断・治療や道内では唯一の胎盤埋没療法を行うほか、日本消化器内視鏡学会専門医指導施設として、日常の検査・治療にあたっています。また、人間ドックや生活習慣病予防健診など、迅速で精度の高い健診のほか、専門医による肝臓センターや心臓リハビリセンターを開設し、日本超音波医学会認定超音波検査士による、腹部エコーや頸動脈・心臓エコーなど年間4,000例以上の検査を行い初期の肝臓がんを発見するなど、検査・治療とも高い医療水準を維持しています。

さらに、2008年に開設した緑愛クリニックでは、高齢化社会における地域貢献をめざし、併設する緑愛訪問看護ステーションと連携して24時間365日対応する「在宅診療」にも力を注いでいます。



▲患者への負担が少ない経鼻内視鏡検査

札幌医療生活協同組合

医療の知識をもっと身近に。

札幌医療生協では、組合員さんはもとより地域の方々のニーズに応え、少しでも生活に役立つ病院をめざしてさまざまな取り組みをしています。毎週定期的に医療講演を開催し、いろいろな職種の職員がそれぞれの専門分野から身近で役立つような情報を発信しています。そのほか、年数回のロビーコンサートや病院祭等も開催しており、地域の皆様に愛される病院をめざしています。



▲心が癒やされるロビーコンサート



▲自分や家族の病気を学ぶ医療講演

北海道住宅生協

新築からリフォームまで。安心・安全の工事

労金や全労済と同じく、営利を目的としない労働者福祉事業団体です。消費生活協同組合法に基づき、新築からリフォームまで幅広く「快適な住まい」づくりを行っています。

リフォーム事業は年間800件の実績で、「ウソ、偽りのない安心・安全な工事」が大きな信頼を得ています。お気軽にご相談ください。



▶8月に開催された「札幌元気まつり」には上田文雄札幌市長も参加。住宅生協の「子ども体験コーナー」では、端材を利用した「木工ラモづくり」をしました

くらしの便利アドレス(今回ご紹介の生活協同組合)

- 生活協同組合コープさっぽろ
(えほんかドック、子育てひろば、CO・OP共済)
札幌市西区発寒11条5丁目10-1(本部)
☎011-671-5601(代)
<http://www.coop-sapporo.or.jp/>
- 生活クラブ生活協同組合
札幌市西区発寒9条13丁目1-10
☎011-665-1717
<http://www.s-coop.or.jp>
- 北海道医療生活協同組合
札幌市清田区北野1条1丁目6-30
☎011-883-0121
<http://www.ryokuai.com/>
- (財)コープさっぽろ社会福祉基金
札幌市西区発寒11条5丁目10-1 コープさっぽろ本部2F
☎011-671-5719
<http://www.coop-sapporo.or.jp/contents/view/id/73>
- (財)日本ユニセフ協会北海道支部
札幌市西区発寒11条5丁目10-1 コープさっぽろ本部2F
☎011-671-5717
<http://www.unicef-hokkaido.jp/>
- 全労済北海道本部
札幌市白石区菊水3条4丁目1-3
☎011-821-6031
<http://www.zenrosai.coop>
- 札幌医療生活協同組合
札幌市清田区里塚1条2丁目20番1号
☎011-883-0602
<http://www.minamiseishu.com>
- 北海道住宅生協
札幌市中央区北4条東2丁目7番地6
☎011-221-3310
<http://www.hjs.or.jp/>

ご紹介のサービスについてのお問い合わせ・ご相談は、直接各生協にご連絡ください。